



## 2021年度主題 「福音の希望を持ち続けよう」

主題聖句 ただ揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、世界中至るところ人々に宣べ伝えられており、わたしパウロは、それに仕える者とされました。  
コロサイ1:23

2020年、私たちは新型コロナウイルス感染症の流行により教会にとって最も大切な礼拝を守ることの難しい状況を経験し、それはまだ続いています。集まり、賛美し、交わり、共に食事をする事への制限の中、失うことへの不安を覚えつつも神さまから私たちへの働きかけや恵みを感じることもありました。この1年のそれぞれの教会のご経験をシェアし、共に祈り合ひましょう。担当:鈴木敦子  
(いただいた原稿は7月25日時点のものです)



駒込平和教会  
KOMAGOME PEACE CHURCH

## 感謝のご報告

6月27日午後3時から、「教会設立会議」を行いました。ご出席、励ましの言葉やお祝いをいただき有難うございました。教会設立会議では、13教会の代員による審議後、満場一致で教会設立が承認されました。感謝礼拝では、渡邊さゆり牧師の就任も共に、主に感謝を献げました。久保親哉師のメッセージ、高橋彰師の教会への勧めのことばを通し、新たな歩みへと押し出されました。これまでと同様に、交わりを続けさせていただきまますよう、よろしくお祈りします。現在、コロナ危機下で感染予防策をとりながら宣教を続けています。受付での手指消毒、検温記録、マスク着用の協力要請、換気、三密回避のレイアウト、二酸化炭素濃度測定を行いつつ、礼拝を行い、YouTubeライブ配信をしています。  
8月1日からは、主の晩餐(聖餐)を延期し、賛美は発声せず奏楽によって行い、集会は短時間で行っています。このような時だからこそ、地域、人びととのつながりを大切に神様の愛を伝えていきたいと思ひます。(林寿恵)



8月1日の礼拝後に

## 東京平和教会

東京平和教会は、コロナ以前からインターネットで礼拝を視聴できるようにしていただきましたので大きな混乱はありませんでした。しかし、礼拝出席者の数が減ることによって礼拝献金の額が少なくなりました。しかし、献金の方法も振込が出来るようにしたり工夫しています。

東京平和教会は、毎月第1週の日曜日は合同礼拝10:00～第2週から第5週は、第I礼拝10:00～第II礼拝11:00～、その他に、毎週カレン語のKCM



(カレンクリスチャンムーブメント) 13:30

カチン語のKBCJapan

(カチンバプテスト教会日本) 13:00

チン語のTCC (東京チン教会) 14:00

の礼拝が行われています。それぞれ、担当の牧師や宣教師によって楽しく礼拝が行われています。コロナの中ですが葬儀や結婚式も行いました。ミャンマーのたくさんの部族の方々が礼拝に参加していますので、どうぞ、ミャンマーの国の平和を覚えてお祈り下さい。(大矢直人)

## カチン平和教会

主の御名を褒め称えます。主の御恵によりカチン平和教会では毎週礼拝を続けることが出来ております。参加者は以前と比べると半分程です。Zoomでも配信していますが教会員の皆さんは中々なれなく参加者は少人数です。教会学校、青年会、男性会、女性会なども通常通り再開しました。感染の予防としては自動検温器設置、礼拝堂に入る前のマスクの交換、手の消毒、ドアと窓を開ける等を徹底しています。7月11日には29周年の感謝礼拝を写真のように多数で守る事が出来ました。聖餐式も毎月第一日曜日に使い捨ての容器を使用して再開しています。  
6月からは足立区の牧師館にも午前礼拝を始めました。今後、日本での伝道の為にも考えて日本語で礼拝するようにしています。残念ながら越谷教会での礼拝は中止したままです。そして厳しい状況下のミャンマーの為いつも覚えてお祈りして頂きありがとうございます。ミャンマーも日本もこの世界が一日も早くコロナ禍から抜き出せますようお祈り致します。(ポウヤム ドエブ)



## 日本バプテスト横浜教会

横浜教会礼拝は、日曜日子どもの礼拝は午前9時から主日礼拝は10時30分から行っています。子どもの礼拝のみで分級は行っていません。主日礼拝も40分程度の短い礼拝となっています。写真は、毎年7月第二主日に行っています召天者記念礼拝の様子です。

昨年と今年は、午前と午後の2回に分けて行いました。聖餐式は、各自でパンとぶどう液を用意してもらっています。第1主日と忘れた方の為に第3主日の月2回、聖餐式を行っています。

積極的に聖餐式に与る意識ができて返って良かったように思います。愛餐会はクリスマスも含め行えていません。

また、You Tubeによる礼拝メッセージの配信を、毎週20名弱の方が視聴して下さいています。



召天者記念礼拝  
(大矢 誉生)

## 捜真バプテスト教会

捜真教会では、コロナ禍となつてからの1年半、礼拝の持ち方や聖餐式などについて試行錯誤を重ね、現在の体制に落ち着きました。

礼拝堂に集まる人数を半分にするため、通常の出席者を2つのグループに分けました。1グループが教会へ来る日は、2グループは自宅でライブ配信を視聴し、次の週は交代する、を交互に行っています。聖餐式は、どちらのグループの教会員も聖餐にあずかれるように、月によって、第1主日に行ったり、第2主日に行ったりしています。

教会学校はなかなか再開できませんでしたが、6月に1年4か月ぶりにやっと再開できました。

HP上のみのお知らせにもかかわらず、50名の親子が出席してくれました。礼拝のみ20分程の短い時間ですが、その後も毎回

50名を超える出席があり、神様のお導きを感じました。

当たり前だった教会生活が一変したことで、私たち教会に連なる者は、大人も子どもも共に礼拝することによって、しっかりと神様に繋がっていることを、改めて深く感じる時となりました。



教会学校

(内藤さとみ)

## 霞ヶ丘教会

霞ヶ丘教会は3月の緊急事態宣言解除後は聖日礼拝、CS礼拝共に通常通り実施してきました。コロナ禍の影響で高齢者を中心に礼拝を休む方は多いのですが、それでも、女性会、壮年会、青年会の各例会も休み無く続けてきています。但し、安全面に配慮し、聖餐式と愛餐会は、昨年4月最初の緊急事態宣言発出後、翌5月より中止し現在に至っています。

学校は夏休みに入りましたが、CSの夏の行事も昨年同様何もできません。但し、CS礼拝は夏休み中も変わらず実施します。コロナが収まれば秋に何かできればと願っています。

神奈川県独自の緊急事態宣言が出されることになり(7/22~8/22)ましたから、今後の状況の推移を見て、如何に対処すべきか8月1日の執事会で検討したいと思っています。

(長谷川捷紘)

## 日本バプテスト深川教会

愛餐会を除き、礼拝、聖餐式、祈祷会、聖書集会を継続しております。礼拝に出席できない方への配慮としては、ツイッターでのライブ配信を行っています。(QRコード)



ツイッター

今年度の宣教のテーマは「執り成しの祈りをしよう」(聖書:ヤコブの手紙5章15-16節)です。礼拝に来ることのできない方や、介護施設におられる方々、医療従事者の方々のための祈りを献げています。

一昨年度より、偶数月の第2主日、礼拝後に「わかち愛の会」を行い、礼拝メッセージから受けたことを語り合っています。コロナ禍の影響で出席者は少なくなりましたが、希望により継続しています。分かち合いの後に執り成しの祈りと、祈りのカードを作成して送りました。



わかち愛の会

花の日こどもの日、子どもの祝福式を行いました。1歳から中学生まで、教会の皆さんの見守る中で行うことができました。感謝です。

(清水美穂)



子どもの祝福式